

# 取扱説明書

電動式移動棚

BSD ビーリード



- この製品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり、製品の内容を十分に理解してください。
- この製品の操作者、管理者は製品の内容を十分に理解していない方には操作をさせないでください。
- お読みになったあとは、いつも製品のそばに置いてご使用ください。



このたびは BSD ビーリードをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。

この取扱説明書は本製品をお使いになる方々のために使用方法を説明したものです。

安全に正しく使用していただくために、この取扱説明書をよくお読みになり、

指定の方法でご使用くださいますようお願い申し上げます。

なおご不明な点は販売店または弊社へお問い合わせください。

## 本取扱説明書をお読みいただく前に

---

●表示と意味は次のようになっています。



### 警告

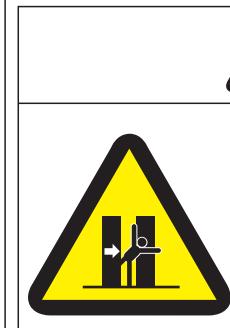
この表示を無視して、誤った取扱いをすると、重傷などの重大な結果に結びつく可能性が想定される内容を示しています。



### 注意

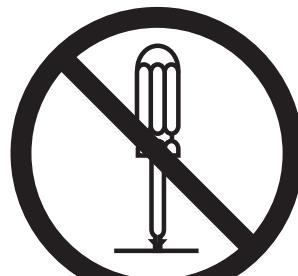
この表示を無視して、誤った取扱いをすると、傷害または、収容物などの損害の発生が想定される内容を示しています。

●製品上に貼付された警告ラベル



### 警告

移動棚の通路内に人がいないことを確認してから動かしてください。人に当たってケガをすることがあります。



分解禁止

# 安全にお使いいただくために、 下記の事項をお守り下さい。

## ⚠ 警告

誤った取り扱いをしたときに、重傷などの重大な結果に結びつく可能性が大きいもの

### 操作上の警告

取扱説明書どおりに使用してください。指定以外の方法はケガをすることがあります。

移動棚の通路内に人がいないことを確認してから動かしてください。人に当たってケガをすることがあります。

棚と棚のすきまに顔や手など身体を入れないでください。はさまれてケガをすることがあります。

安全コードをくぐって通路に入らないでください。はさまれてケガをすることがあります。

移動棚レール上の異物は取り除いてください。脱輪によって棚が倒ってきて、ケガをすることがあります。

収容物を棚板からはみだして収納しないでください。収容物を傷つけたり、荷くずれによってケガをすることがあります。

最大積載質量以上に収納しないでください。棚板が落下してケガをすることがあります。

安全保安部品は絶対にはずさないでください。事故によってケガをすることがあります。

## ⚠ 注意

誤った取り扱いをしたときに、傷害または収容物などの損害に結びつく可能性があるもの

### 操作上の注意

子供には操作させないでください。事故でケガをすることがあります。

移動棚の通路の中から棚を操作しないでください。はさまれてケガをすることがあります。

棚板や本体の上に乗らないでください。転倒してケガをすることがあります。

移動棚の通路内には、台車・踏台・物などを放置しないでください。

台車や踏み台などを棚にぶつけないでください。

転倒防止パイプなどにぶらさがらないでください。壊れてケガをすることがあります。

電源キースイッチのある棚の制御盤扉を開けて、漏電ブレーカーの作動確認を月一回以上行ってください。

制御盤扉を開けたまま、棚を移動させないでください。人に当たってケガをすることがあります。

ボルトやネジがゆるんだままで使用しないでください。本体が壊れてケガをすることがあります。

手動操作装置をお使いの場合は、必ず電源を切ってください。

異常を発見したら、すみやかに販売店または弊社にご連絡ください。

### 棚板の取付け方、収容物ののせ方の注意

上板の上に物をのせないでください。落下してケガをすることがあります。

棚板は必ず袖板のつめとかみ合わせ、水平に取付けてください。棚板がはずれてケガをすることがあります。

危険物を収納しないでください。人体や衣服などを傷つけることがあります。

不安定な収容物を棚にのせないでください。また、不安定な積み方をしないでください。落下してケガをすることがあります。

### 改造などの禁止

修理・改造・移設などは弊社にお任せください。

B.S.D

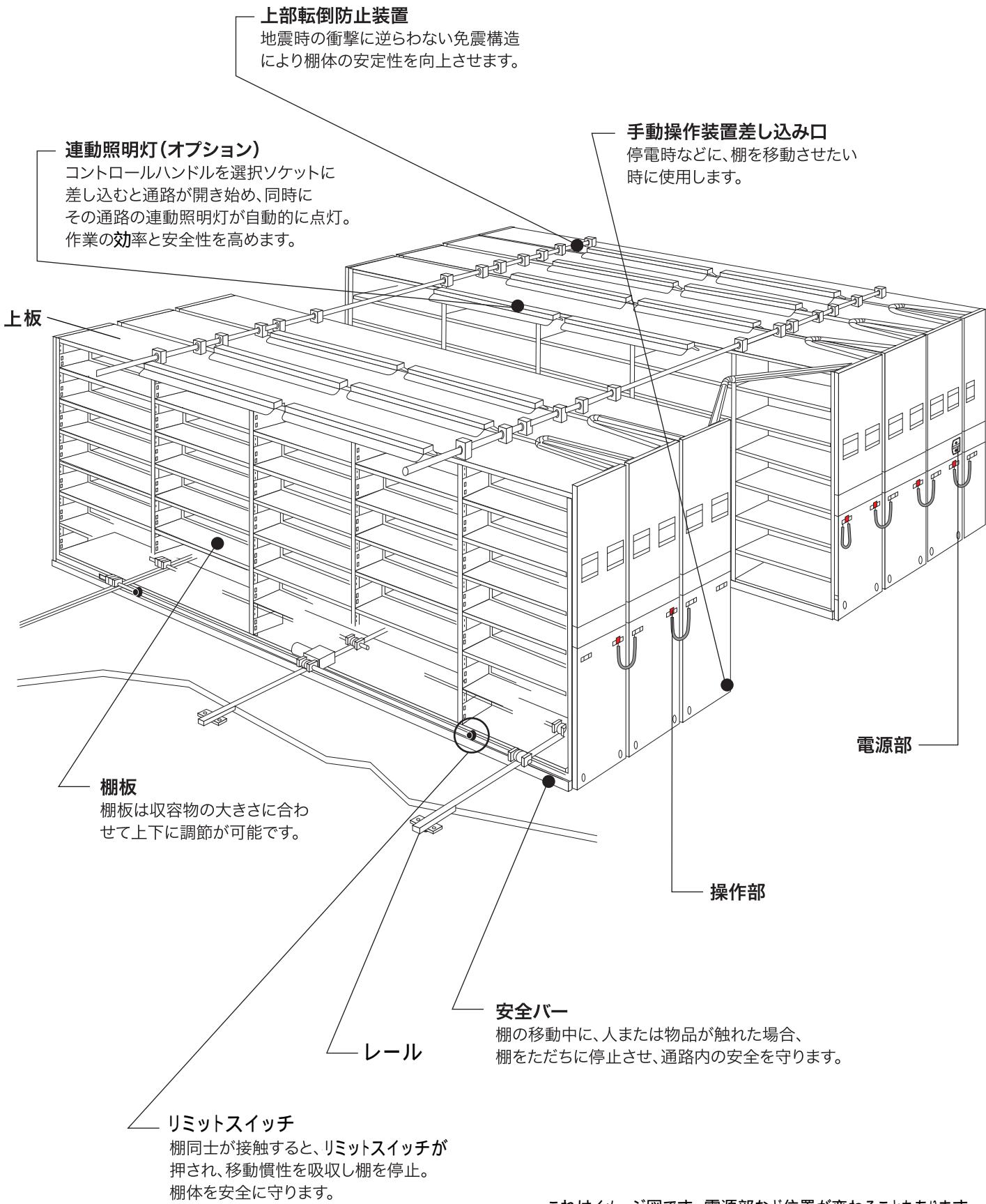
BSD ビード

もくじ

本取扱説明書をお読みいただく前に	2
安全にお使いいただくために	3
もくじ	4
各部のなまえとはたらき	5
本体	5
電源部/操作部	6
操作のしかた	7
操作のしかた(通常操作)	7
移動中の棚を止めたいときには	11
安全バー作動で停止したときには	12
散開させるときの操作	13
故障かなと思ったら	15
サービスマンが来るまでに、棚を動かしたいときには	17
特殊操作	17
停電や故障などで棚が動かないときには	18
手動操作	18
棚板の段組を変えたいときには	19
各型の最大積載質量について	19
日常のお手入れのしかた	20
漏電ブレーカーの確認	20
レール上の異物の確認	20
蛍光灯の取りかえかた	21
そうじのしかた	21
改造などの禁止について	21

# 各部のなまえとはたらき

## ■本体



## ■電源部

### 電源ランプ兼設定ボタン

以下の機能を有します。

- 電源が入ったときに点灯する機能
- 散開操作をする機能

### 電源キースイッチ

以下の機能を有します。

- 電源の入・切
- 特殊操作の切り替えをする機能

## ■操作部

### 選択ソケット

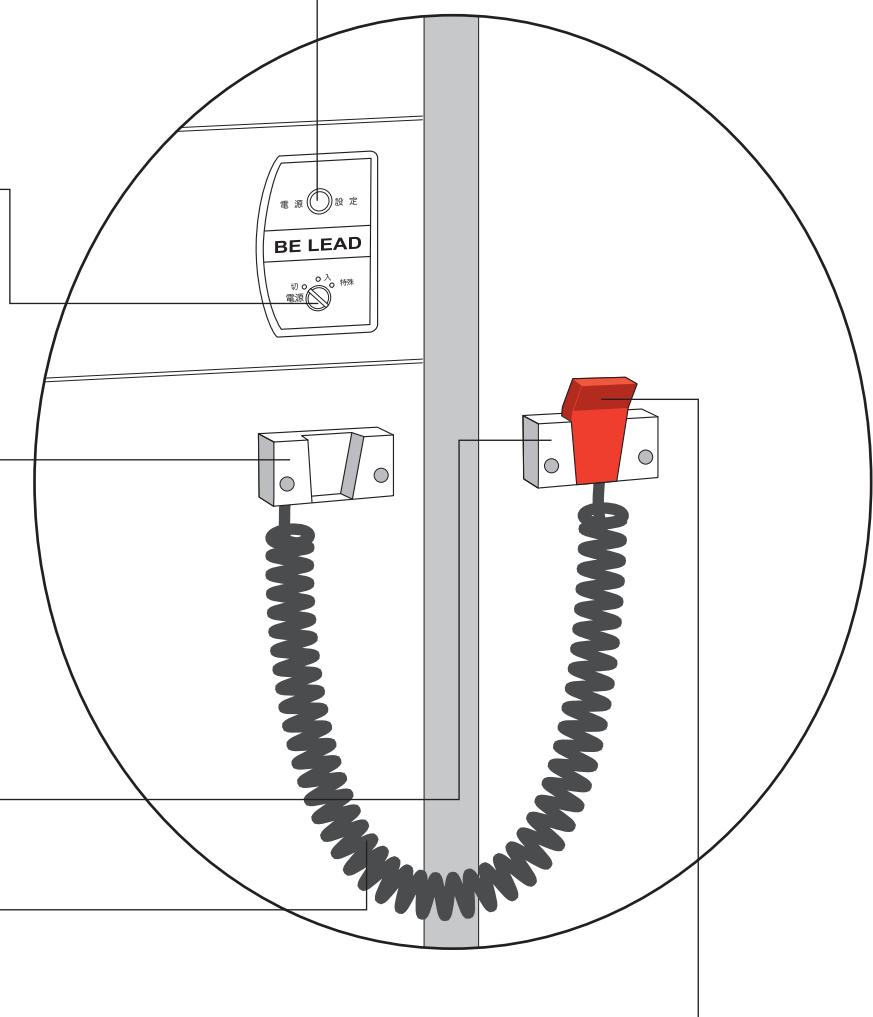
### 遮断ソケット

### 安全コード

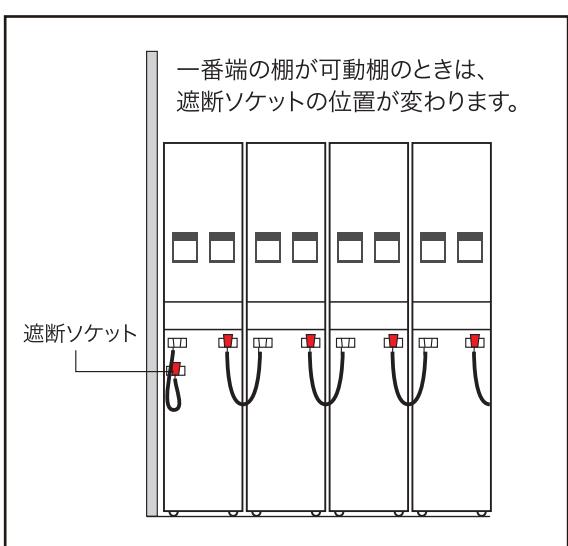
### コントロールハンドル

以下の機能を有します。

- 通路を選択する機能
  - …選択ソケットに差し込んだとき
- 移動中の棚を停止させる機能
  - …選択ソケットまたは遮断ソケットから外したとき
- 通路ロックを解除し、使用していない通路を遮断する機能
  - …遮断ソケットに差し込んだとき
- 運動照明灯(オプション)を点灯する機能
  - …選択ソケットに差し込んだとき
- 運動照明灯(オプション)を消灯する機能
  - …選択ソケットから外したとき



一番端の棚が可動棚のときは、遮断ソケットの位置が変わります。



# 操作のしかた(通常操作)



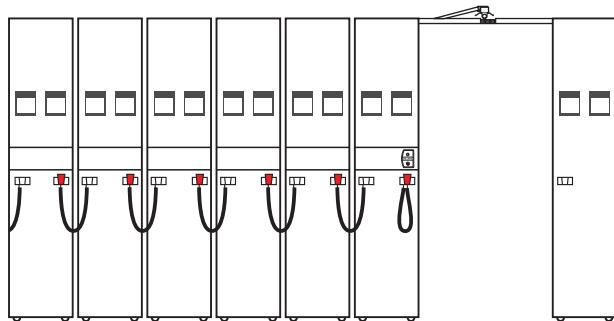
移動棚の通路内に人や物などがないことを確認してから操作してください。

まずははじめに、すべてのコントロールハンドルが遮断ソケットに差し込まれていることを確認してください。

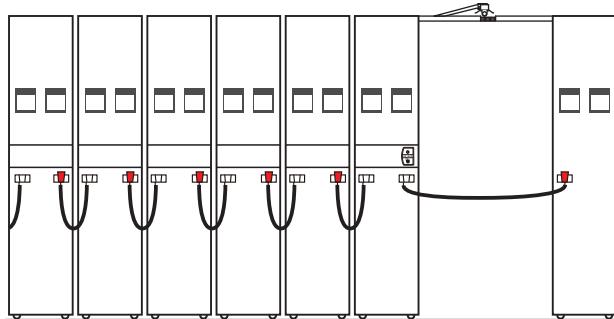
## 電源の入れ方

1

電源キースイッチにキーを差し込み、キーを回し **入** に合わせる。



●電源が入ると電源ランプが赤く点灯し、操作が可能となります。



## 用語解説

**通路ロックとは……** 通路を使用中に、ほかのコントロールハンドルを操作しても、使用中の通路が閉じてこないようにロックさせる機構です。

**通路リセットとは……** 通路ロックを解除することです。使用していた通路のコントロールハンドルを遮断ソケットに差し込めばその通路の通路ロックは解除されます。

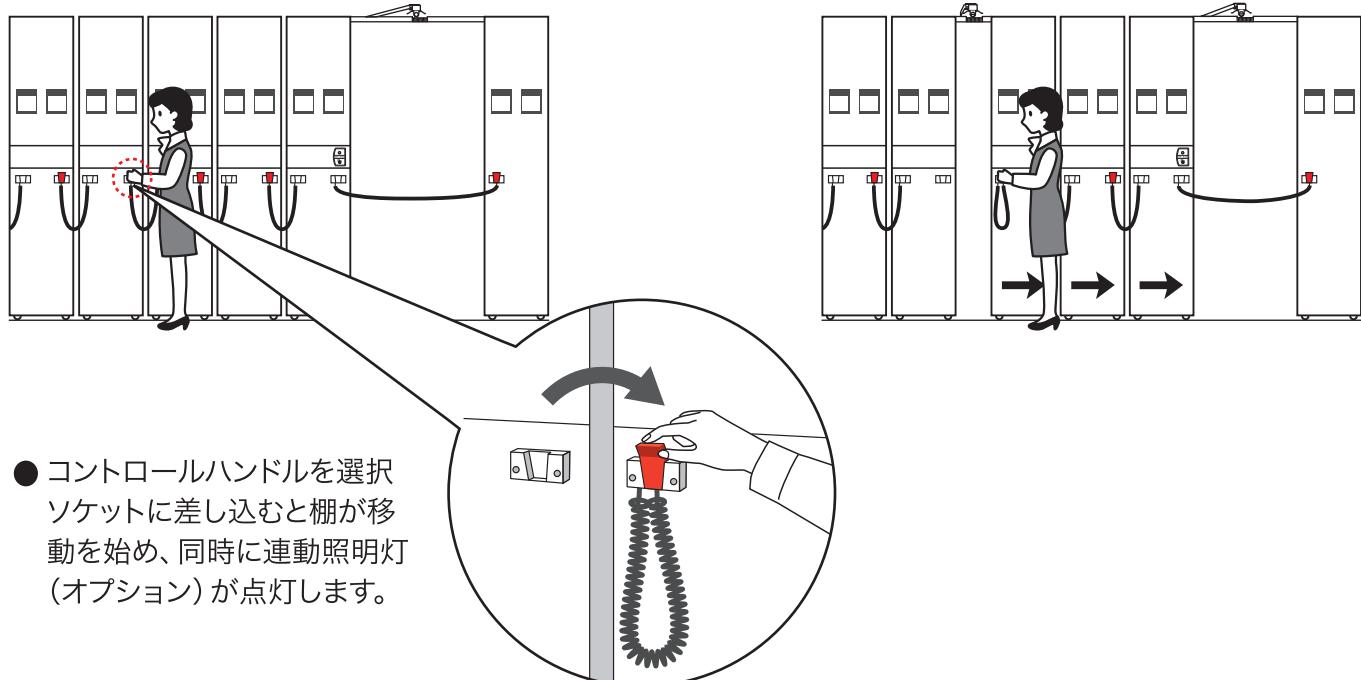
## 通路の開け方

2

開きたい通路のコントロールハンドルを選択ソケットに差し込む。

3

棚が移動する。

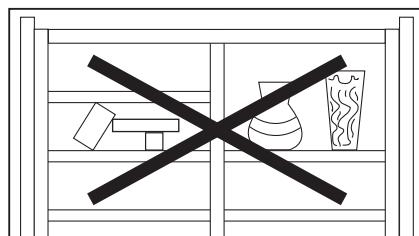


### ■はみだし収納禁止



**警告** 本や物品などの収容物は、棚板からはみださないように収納してください。はみだして収納すると、収容物にキズをつけたり、安全バー装置がはたらかず、ケガをすることがあります。

### ■不安定な物・危険物の収納禁止



**注意** 不安定な収容物を棚にのせたり、不安定な積み方をしないでください。落下してケガをすることがあります。

**注意** 危険物を収納しないでください。人体や衣服などを傷つけることがあります。

# 操作のしかた(通常操作)つづき

4

通路が停止してから  
出納作業をする。



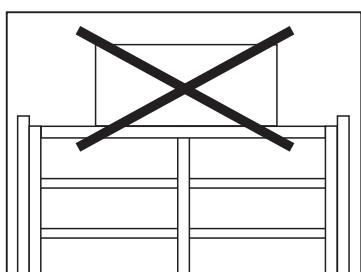
5

作業が終了したら、通路を出る。



- 通路が開き終わると、通路ロック機構がはたらき、ほかの通路のコントロールハンドルを操作しても棚が移動しないため安全です。

## ■上板の上、収納禁止



**⚠ 注意** 上板の上に物をのせないでください。  
落下してケガをすることがあります。

## ■棚に乗りながらの作業禁止

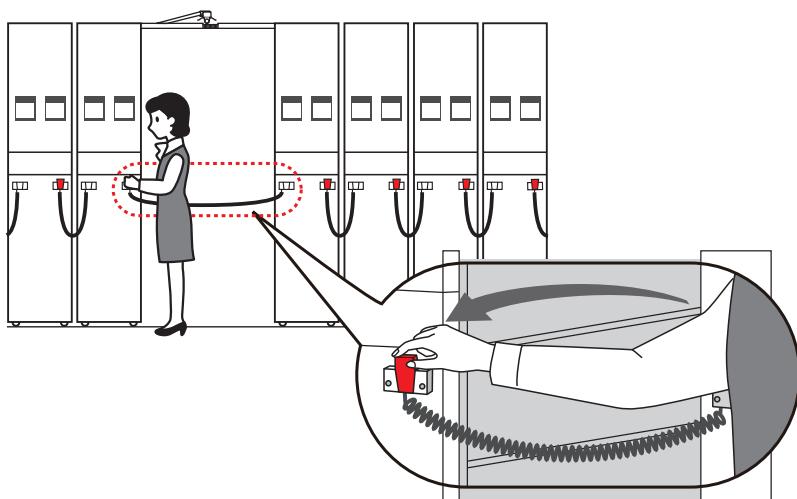


**⚠ 注意** 棚板や本体の上に乗らないでください。  
転倒してケガをすることがあります。

## 電源の切り方

6

コントロールハンドルをもとの遮断ソケットに差し込む。



●コントロールハンドルをもとの遮断ソケットに差し込むと通路ロック機構が解除されます。同時に連動照明灯(オプション)も消えます。



※ほかの通路を開きたい時は、2に戻って  
続けて操作してください。

7

電源を切る。



- 棚を使用しないときは、電源キーを **切** に合わせて電源を切ってください。
- すべての出納作業が終了したときや、長時間その場を離れるときは、電源キーのスイッチのキーは抜いてください。電源キーのスイッチのキーを抜いたあとは、大切に保管してください。

**警告** 安全コードをくぐって通路に入らないでください。はさまれてケガをすることがあります。

**注意** 移動棚の通路内に台車・踏台・物などを放置しないでください。



# 移動中の棚を止めるには

## 操作中に棚を止めるには・・・

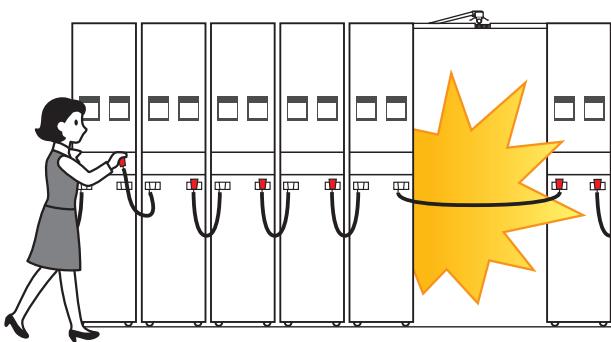
1

手近かのコントロールハンドルをソケットから外してください。棚はただちに停止します。

2

操作を再開するには・・・

外したコントロールハンドルをもとのソケットに差し込んでください。その後、開けたい通路のコントロールハンドルをもう一度選択ソケットに差し込んでください。



## 通路内にいるとき閉じてくる棚を止めるには・・・

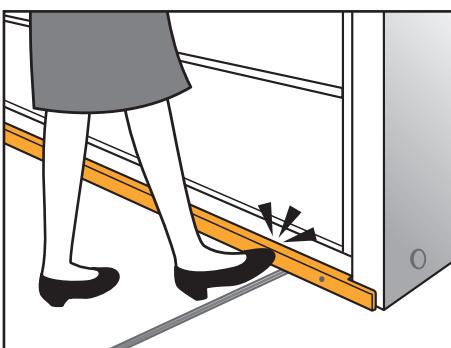
1

棚の下部にある安全バーを押してください。棚はただちに停止します。

2

操作を再開するには・・・

通路内の安全を確認したあとで、開けたい通路のコントロールハンドルをもう一度選択ソケットに差し込んでください。



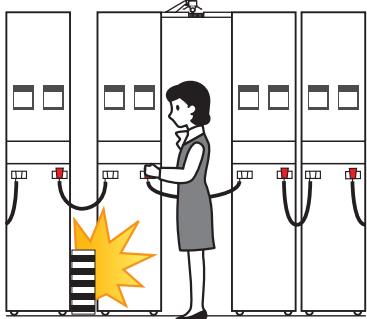
# 安全バー作動で停止したときには

- 通路内にある物をはさんでしまったときには、安全バーが作動し移動中の棚はただちに停止します。
- 安全バーが作動したまま、ほかの通路を選択するとピーとブザー音が鳴ります。
- 安全バーが1つの通路で作動しているときのみ、通常操作でその通路を開くことができます。

## 物をはさんでしまったときには・・・

1

開こうとしていた通路のコントロールハンドルをもとの遮断ソケットに差し込む。



2

物をはさんでいる通路のコントロールハンドルを選択ソケットに差し込み、通路を開く。



- どこの通路で物がはさまっているのかわからないときには、1通路ずつ通路選択を行ってください。その通路のみ開くことができます。
- 通路が開いたら、はさんでいる物を取り除いてください。
- 通路から出たら、その通路のコントロールハンドルを遮断ソケットに差し込んでください。開きたい通路の選択ができます。

## お知らせ

1. 収容物が棚からはみ出したり、不安定な積み方で落下したりすると、安全バー作動になります。
2. 安全バー作動が2つの通路以上で同時に発生すると上記の操作はできなくなります。  
(特殊操作の項参照)

# 散開させるときの操作（散開機能）

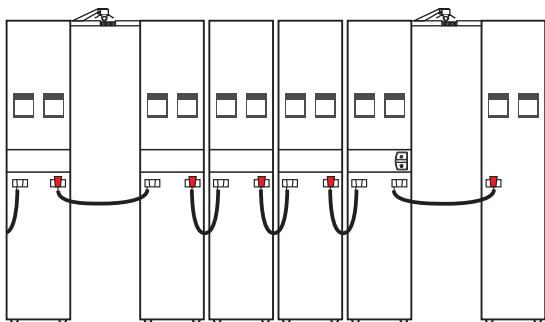


移動棚の通路内に人や物などがないことを確認してから操作してください。

## 散開操作の方法

1

散開操作をする前に、通路が開ききっていないときは、完全に開いてください。

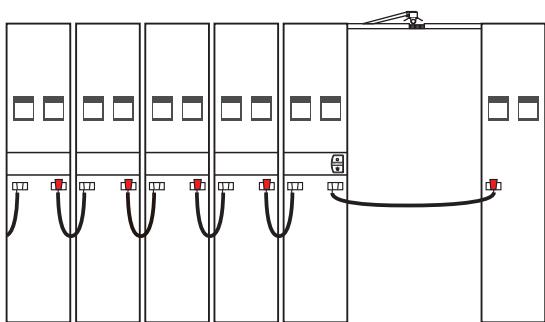


2

設定ボタンを押す。



●設定ボタンを押すと、棚が自動的に散開します。



●すべてのコントロールハンドルが遮断ソケットに差し込まれていることを確認してください。

### お知らせ

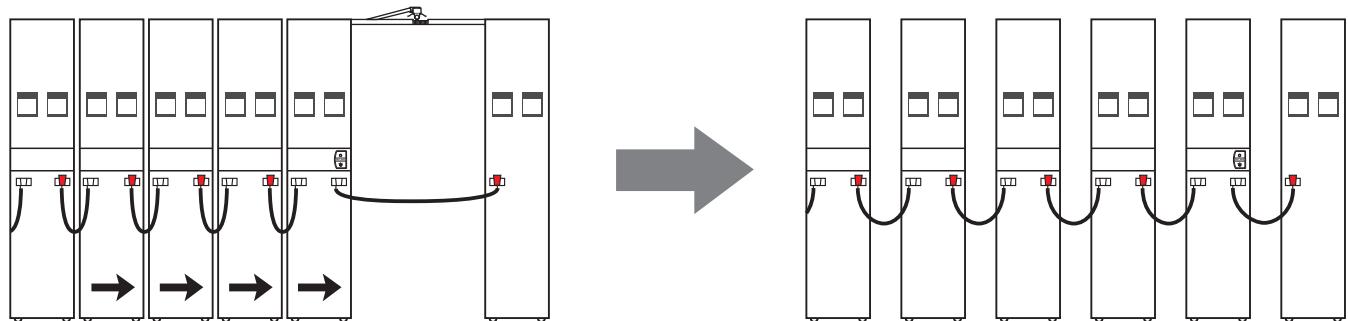
散開操作は通常操作で使用した後でないと作動しません。

# 3

棚が散開移動をする。

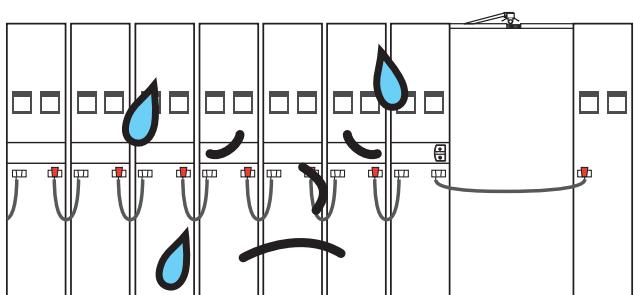
# 4

棚が散開位置で自動停止する。



## 散開機能のメリット

- 各棚間に通気のための空間をつくり、空調効果を向上させます。
- 本製品が設置された部屋に除湿機を取り付ける場合は、その除湿効果が棚の内側にまで行きわたります。



# 故障かなと思ったら

■棚に異常が発生した時、以下のような対処をしてください。

	現 象	原 因	対 処
1	電源キースイッチを <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">入</span> にしても、電源ランプが点灯しない。	●ACコンセントに電気がきていない。 ●コンセントが抜けている。 ●漏電ブレーカーが落ちている。	●建物の分電盤の遮断器を確認する。 ●電源を切ってからコンセントを差し込む。 ●電源キースイッチのある棚の制御盤扉を開けて中にある漏電ブレーカーのレバーを上げる。
2	移動中に棚がゆれて、しばらくすると止まる。	収容物が棚からはみ出ている。 (棚の下部にあるリミットスイッチが押されていないため)	ゆれている棚の通路を開き、収容物を棚板からはみ出さないように収納する。
3	移動中に棚がガタンとゆれる。	レールの溝に異物が落ちている。	レールの溝にある異物を取りのぞく。
4	通路を開けようとして、コントロールハンドルを選択ソケットに差し込むと、ブザー音が鳴って棚が動かない。	コントロールハンドルが差し込み不良になっている。	<b>対処 A</b> すべてのコントロールハンドルが遮断ソケットにしっかりと差し込まれているかを確認する。
5		安全バーが作動している。	<b>対処 B</b> 1通路ずつ通路選択を行い、安全バーが作動している通路を開く。その通路の安全バーに何かあたっていないか、または安全バーが押されたままになっていないかを調べる。
6	開けようとしていた通路が開かず、ほかの通路が開いてしまう。	本体が故障している。	



対処後も異常が直らない場合	故障時の取扱いについて
	<p>サービスマンが来るまでの間に棚を動かしたい時は、18ページの手動操作をおこなう。</p>
	<p>サービスマンが来るまで、棚を動かしたり、修理をしない。</p>
	<p>サービスマンが来るまで、棚を動かしたり、修理をしない。</p>
	<p>サービスマンが来るまでの間に棚を動かしたい時は、17ページの特殊操作をおこなう。</p>
	<p>サービスマンが来るまでの間に棚を動かしたい時は、17ページの特殊操作をおこなう。</p>
	<p>サービスマンが来るまでの間に棚を動かしたい時は、18ページの手動操作をおこなう。</p>

# サービスマンが来るまでに、棚を動かしたいときには

## 特殊操作

■前ページの対処A、Bをしても棚が動かない時には、次の操作をおこなってください。

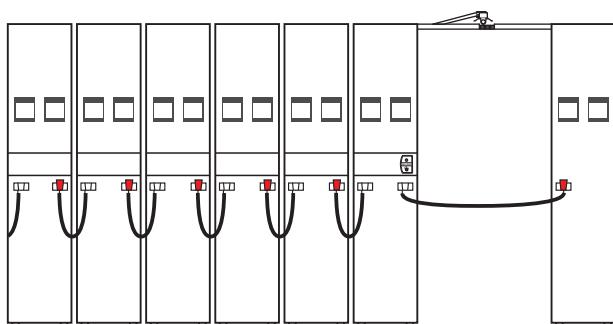


この操作は安全装置がききません。

開いている通路内に人や物などがないことを確認してから操作してください。

必ず2人で操作してください

1



すべてのコントロールハンドルを遮断ソケットに差し込む。

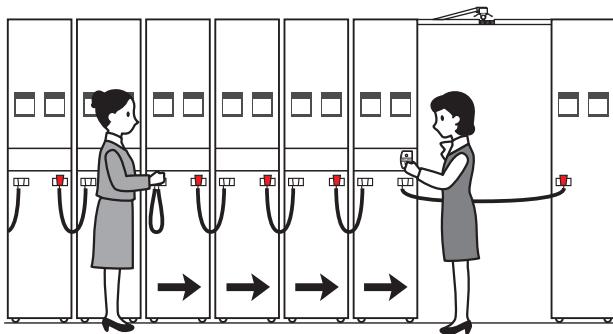
2



ひとりの人が、電源キースイッチを特殊に合わせ、そのままにする。

- 電源キースイッチを特殊に合わせると電子ブザー音が鳴ります。

3



開けたい通路のコントロールハンドルを選択ソケットに差し込む。

- 通路が開き終わったら、電源キースイッチから手を離してください。キーは入の位置に戻ります。

# 停電や故障などで棚が動かないときには

## 手動操作

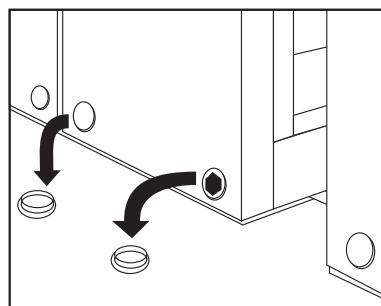
■万一の停電や故障などで棚の操作ができないときには、次の手動操作をおこなってください。

1



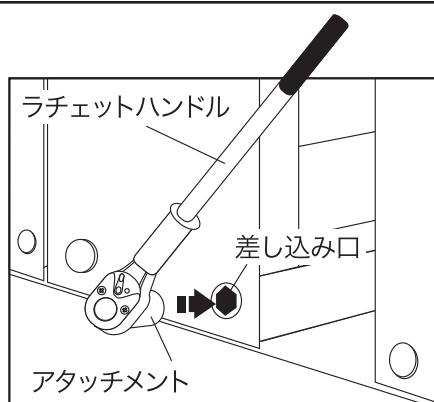
電源キースイッチを切に合わせて、電源を切る。

2



棚正面の下部にあるキャップをはずす。

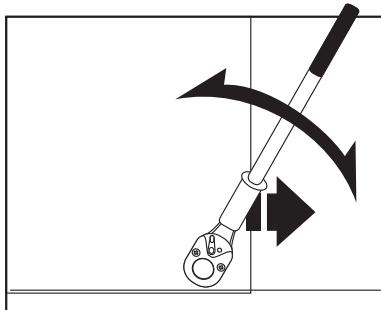
3



ラチェットハンドルをのばし、アタッチメントを取り付け、差し込み口に取り付ける。

- 差し込み口はどちらかの一方にあります。ラチェットハンドルを差し込む前に、確認してください。

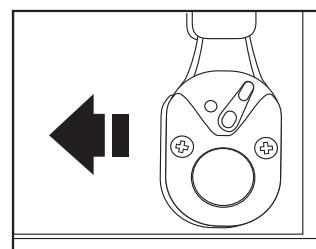
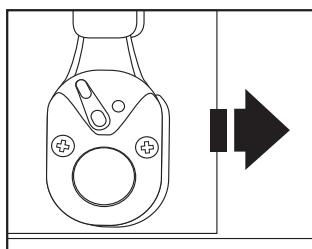
4



レバーを左右に動かし、棚を移動させる。

- 棚は1台ずつ移動させてください。移動させた後は必ずラチェットハンドルを外してください。

- 棚を逆方向に移動させる時は、ラチェットハンドルにある小さなレバーを動かしてください。棚は逆方向に動きます。

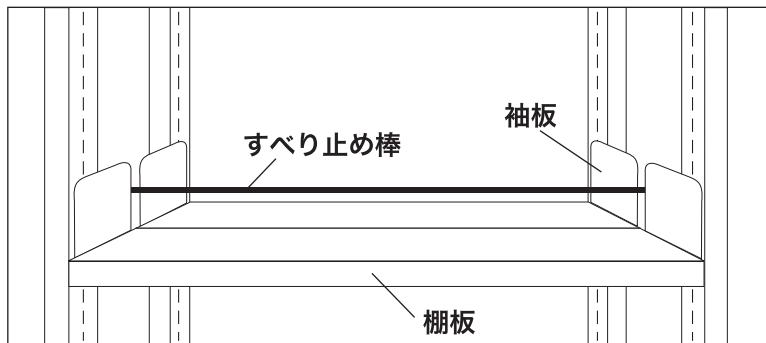


注意 手動操作装置の使用中に電気が入ると危険です。必ず電源を切ってからご使用ください。

## お願い

停電になった場合を考慮して、ラチェットハンドルとアタッチメントは本製品のそばに保管してください。

# 棚板の段組を変えたいときには



1. 収容物を取り出し、すべり止め棒・棚板・袖板の順にはさします。
2. 収容物の高さに合わせて、左右の袖板を取付けます。
3. 棚板・すべり止め棒の順に取付けます。

**⚠ 注意** 棚板は、必ず袖板のツメとかみ合わせ、水平に取り付けてください。

**⚠ 注意** 最下段の棚板は、はずさないでください。

## 各型の最大積載質量について

規格	B型	S型	K型	F型	M型	CD型
奥行	単式　複式  295 460	単式　複式  295 495	単式　複式  310 525	単式　複式  380 670	単式　複式  495 870	単式　複式  295 380
最大積載質量	一段当り 60kg	60kg	60kg	60kg	60kg	30kg
	一連当り 300kg 600kg	300kg 600kg	300kg 600kg	300kg 600kg	375kg 750kg	225kg 450kg

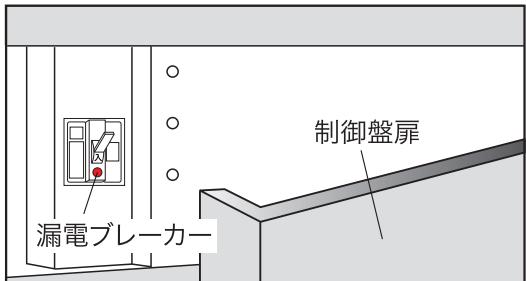
**⚠ 警告** 最大積載質量以上に収納しないでください。棚板が落下してケガをすることがあります。

**⚠ 注意** 実際の最大積載質量は建物などの耐荷重などにより異なる場合があります。

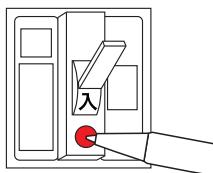
# 日常のお手入れのしかた

本製品を正しくご使用いただくために、次の事項を必ずご確認ください。

## 漏電ブレーカーの確認

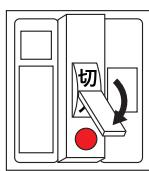


■主制御盤がある棚（電源キースイッチのある棚）の制御盤扉を開けて、漏電ブレーカーの作動確認をおこなってください。



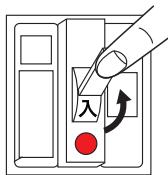
1

漏電ブレーカーの下にある赤いボタンをボールペンなどの先で押してください。



2

漏電ブレーカーのレバーが下りて電源が切れ、漏電ブレーカーが正常にはたらいているのが確認できます。  
※漏電ブレーカーのレバーが下りないときには、コンセントが抜けていないか確認してください。



3

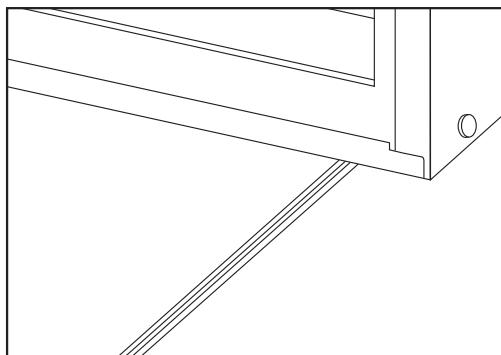
漏電ブレーカーのレバーを再び上げ、制御盤扉を閉めてください。

お願い

漏電ブレーカーの作動確認は、月1回以上おこなってください。

## レール上の異物の確認

■移動レール上の異物は取り除いてください。  
(電源を切ってください)

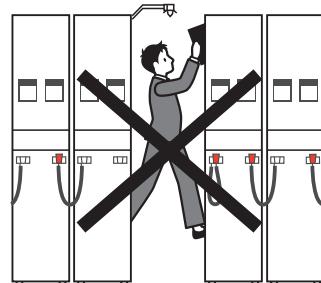


# 日常のお手入れのしかた つづき

本製品を正しくご使用いただくために、次の事項を必ずお守りください。

## 蛍光灯の取りかえかた

連動照明灯（オプション）の蛍光灯が劣化したときは、お客様自身で交換してください。  
蛍光灯は外したものと同じ種類、定格のものをご使用ください。



**1** 電源キースイッチを**切**に合わせて、電源を切る。

**2** 踏台を使い、蛍光灯を交換する。  
照明器具のソケットと蛍光灯の口金を合わせ、確実に取り付けてください。

**⚠ 注意** 棚板や本体の上に乗らないでください。転倒してケガをすることがあります。

**⚠ 注意** 点灯中や消灯直後は蛍光灯が熱いので、手や肌などをふれないでください。

## そうじのしかた

ホコリは柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤をひたした布をよくしぼってふき、その後乾いた布で水分をふき取ってください。

**⚠ 注意** 本体に直接水をかけないでください。

**⚠ 注意** 下記の洗剤などは使用しないでください。



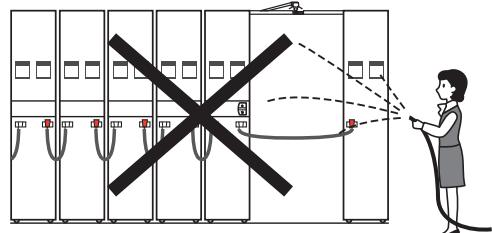
住宅家具用洗剤  
弱アルカリ性または  
アルカリ性洗剤  
弱酸性または酸性洗剤



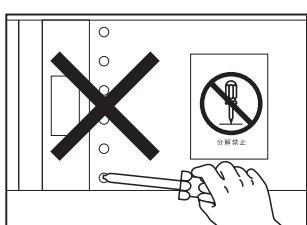
たわし、  
クリームクレンザー、  
ベンジン、シンナー、  
漂白剤など



LPGなど  
可燃性ガス入り  
スプレー洗剤



## 改造などの禁止について



**⚠ 警告**

安全保安部品は絶対に  
はずさないでください。



分解禁止

**⚠ 注意**

修理・改造・移設などは、  
弊社にお任せください。



**BSD**  
**ELECOMPACK**

オフィスルネサンス®を提案する

製造元 株式会社 文祥堂

本 社 〒104-0061 東京都中央区銀座 3-4-12 TEL 03-3566-3535  
大 阪 支 店 〒541-0048 大阪市中央区瓦町4-5-9 井門瓦町ビル7階 TEL 06-6233-9005  
名 古 屋 支 店 〒460-0003 名古屋市中区錦2-2-13 名古屋センタービル TEL 052-218-2671

オフィスルネサンス®は文祥堂の登録商標です。

- この取扱説明書の内容は **2018年2月現在のものです。**
- この取扱説明書に掲載の仕様は、予告なしに変更することがあります。あらかじめご了承ください。
- 商品の色は、印刷上、実際のものと多少異なる場合がありますので、ご了承ください。